学習評価のしかたと通知票の見方

通知票とは？

お子さんの学校における学習状況や生活の様子をお知らせし、自己の取組の成果を客観的に確認し、今後の学校生活をより一層充実させるための努力を促すきっかけとなることを願って作成しています。従って、通知票は、学び・育ちを支援するための手がかりであり、お子さんの自ら学ぼうとする意欲がさらに高まるようご活用をお願いします。

評価の原則

評価は、各教科の学習内容に沿って定めた目標に対し、どの程度到達したかがわかる評価〔絶対評価〕で、成果だけではなく学習の過程や個人のよい点・進歩等も加味しています。

集団の中でどの位置にいるか等、他の生徒と比較して評価したもの〔相対評価〕ではないため、個人の努力が大きく反映されます。評価により自分の努力のようすを知り、次への努力目標・目安がつかみやすく、今後の取組に役立てやすくなっています。

観点別評価と評定

観点別評価は、右記の基準に従い、Ａ・Ｂ・Ｃの３段階でつけています。授業欠席、テスト未受験、課題の未提出などにより、評価できない項目は『※』で表記します。

【評価基準】
Ａ：十分に満足できると判断されるもの
Ｂ：おおむね満足できると判断されるもの
Ｃ：努力を要すると判断されるもの

評定は、観点別評価を基にして、その教科の総合的な到達度を下記の基準に従い、学期ごとに５段階で表しています。各教科で全ての観点別評価がつけられない場合でも、原則として評定をつけますが、どうしても無理な場合は、『※』で表記してあります。

【評定基準】
５：十分に満足できると判断されるもののうち、特に程度が高いもの
４：十分に満足できると判断されるもの
３：おおむね満足できると判断されるもの
２：努力を要すると判断されるもの
１：努力を要すると判断されるもののうち、より一層の努力を要するもの

電子化通知票について

通知票はコンピュータ処理により転記作業を電子化しています。そのため、各学期に１枚の通知票としてお渡しします。各学期の通知票は、お返しいただく必要はありませんので、ご家庭で保管してください。